

ベツカムが25億円を出資
マイアミにサッカーチーム

夢の街マイアミ 不動産投資事情

コアラ社長の

入学したということが話題になっている。

温暖な気候な上、「南米の首都」と呼ばれるマイアミは、一年中サッカーも盛んに行われている。筆者の9歳になる長男もサッカーチームに所属し毎週試合に出場している。南米からの移民が多くを占めるため、アメリカ4大スポーツに含まれないサッカーを楽しむ人口割合が多いのである。

また、南米からスター選手を呼び寄せるといふ点でも地理的に有利であり、マイアミヒートのスーパースターであるレブロンを参加させることでバスケットボールファンを取り込むという戦略も垣間見える。

ベツカムは2016年から17年の間にチームをスタートさせる計画である。また新チームだけでなく、2万5000人収容のスタジアムも建設する予定だ。

現在、マイアミ国際空港とブリッケルエリアの中間にMLBマイアミマリンスの本拠地マリンススタジアムが新設され、マイアミ港近くにNBAマイアミヒートの本拠地であるバスケットボールのアメリカンアリーナが位置する。空港からマイアミ港にかけては高速道路だけでなく、メトロやモノレールなどが急速に整備されている。

またブリッケルから海側に突き出ているキービスケーンという島(大きな橋でつながっている)には広大な土地があることを先日、ドライブをしていて確認した。きっとこのあたりがスタジアムの予定地となるのではないかと思われる。

マイアミ港の増設に続き、今回のビツクニューズ。ますます、ブリッケルエリアの不動産市況は活発になるであろう。

(小原隆浩)

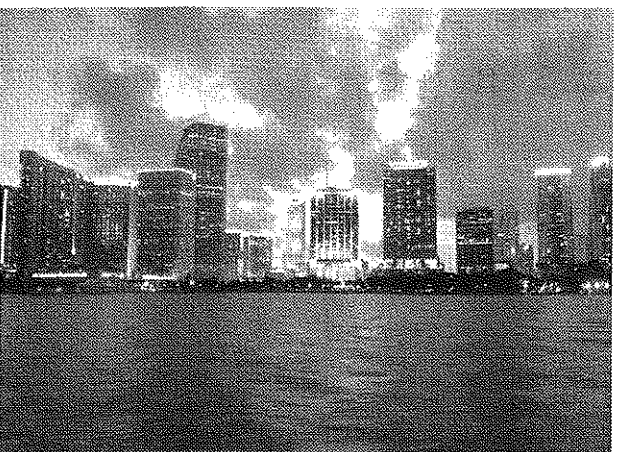
隔週掲載

日本は2月に入って寒波が訪れ、20年ぶりという積雪に見舞われているようだ。だが、ここマイアミは日中28度前後、筆者も夜の屋外プールで泳ぐことが日課になっているほどである。

そんな気候の中、マイアミにビツクニュースが流れた。昨年までアメリカのサッカーリーグに所属していたデビット・ベツカム氏が2500万ドル(25億円)を出資し、MLSで22番目のサッカーチームを、ここマイアミを本拠地として設立する。

地元では、マイケル・ジョーダンの再来と言われているマイアミヒートのスーパースター、レブロン・ジェームスが資金援助をしていると噂が流れている。事実、筆者の自宅から車で15分ほどの距離にある、レブロンの子が通う私立学校のG校にベツカムの子どもが

スタジアム新設でブリッケル人気に拍車



トースケーン湾より眺めるブリッケル